

1 外商強化のねらい

令和7年開催の大阪・関西万博をはじめとした大規模プロジェクトに向け、経済活力が高まる関西圏において、さらなる県産品の認知度向上と外商拡大につなげるため、効果的な外商強化策を検討し、関西戦略のブラッシュアップを図る。

2 関西地区外商強化対策事業委託業務

- (1) 目的：関西圏における外商の取組を拡大・加速するため、商圈分析や先進事例の収集・分析、効果的な外商強化策等について調査
- (2) 実施期間：R4.4/14～7/15
- (3) 調査項目：
 - ① 効果的な外商強化策に関する調査
 - ② 外商拠点に関する調査
 - ③ 食品の小口物流に関する実態調査

3 中間報告の概要

- (1) 効果的な外商強化策に関する調査（他自治体の先進的な外商強化策の事例 ※関西圏以外の事例も含む）
 - ◆ 県産品の展示販売や、試食等の実体験、メディアの関心を引く情報発信など、県産品の販売拡大及び認知度向上の効果的な取組事例を調査
 - ① キッチンカーを活用した移動型アンテナショップ（山口県、徳島県） ※資料5-1
 - ② 期間限定店舗（ポップアップショップ）（青森県、福島県、栃木県 外8県） ※資料5-2
 - ③ オンラインショップ（岩手県、三重県、広島県、福岡県） ※資料5-3
 - ④ コンビニ棚ジャックによる期間限定フェア（徳島県、熊本県） ※資料5-4
- (2) 他自治体の外商拠点施設の状況
 - ◆ 大阪府内に所在する他自治体に関わる外商拠点について、出店場所、運営主体、取組内容等を調査（全14件：中心地型7件、郊外型7件）
 - ① 確認できた14件のうち、中心地型は7件中6件がキタエリア、郊外型は7件中4件が北摂エリアにあり、いわゆる成長エリアに立地している
 - ② 従来からの総合的な品揃えのアンテナショップに加え、惣菜、米、日本酒、精肉などの重点部門を設けたり、重点部門に特化する店舗もみられる
 ※資料5-5 中心地型外商拠点施設の事例（新潟県）、資料5-6 郊外型外商拠点施設の事例（岡山県真庭市）
- (3) 物流費の低減につながる仕組みの事例
 - ◆ 広島県のアンテナショップへの配送
 - 運送会社を一社に絞り、アンテナショップ近隣の配送センターを一時保管場所とし、1日2回にまとめて配送することにより、数量割引を受けるとともに、倉庫スペースや人件費の効率化を図っている

キッチンカーを活用した移動型アンテナショップの事例（徳島県）

1. 目的（コンセプト）

平成16年度に導入したP R車両「新鮮 なっ！とくしま」号は、大型ならではの「インパクト」、調理・舞台・音響等各種機能を兼ね備えたオールインワンの「汎用性」、全国600回を超える出動実績による「認知度」が強みだが、大型により入れない場所がある、調理能力に限界、環境性能の低さや老朽化などの課題がある。

これら現行車両の課題を補完するため、調理機能を大幅に向上させ、環境に配慮し機動力を最大限発揮できる小型の「でり・ばりキッチン 阿波ふうど号」を平成29年度に導入する。

2. トラックの概要

(1) 車両、設備等の内容

- コンセプト : 現行「新鮮 なっ！とくしま」号よりも調理能力を大幅に高めた、起動力のある小型の新型P R車両
- ベース車両 : 三菱キャンターエコハイブリッド3 tワイドボディ
- 車両サイズ : 全長 約6.9m、全幅 約2.2m、全高 約3.3m、総重量 約6.2 t。展開時専用面積 約24㎡
※準中型免許で運転可能サイズ（H19.6以前取得の場合、普通免許で可）
- キッチン機能 : スチームコンベクションオーブン、新規う包装機、スープレンジ、ガステーブル、炊飯器、大型冷凍冷蔵庫、シンク3槽、手洗い1槽
- その他 : 車両側面が大型跳上げ扉により展開、LED照明により夜間展開対応。展開側面に大型モニターを設置、P Rやキッチンの見える化に対応。「阿波ふうど」ロゴマークを基調とした親しみやすいデザイン
- 活用方法など : ・首都圏の量販店、イベントなどでの県産食材P R活動
・本格的料理のデモンストレーションや料理教室
・生産現場における収穫、調理、試食の消費者体験型P R活動

大型と中型の2台のPR車両を活用したイベント運営業務として委託で実施

・委託料 6百万円 ※車両の維持管理業務は別途委託

・年間28回（県内、首都圏、関西圏等）実施



期間限定（ポップアップショップ）の事例（青森県）

事例名	青森県期間限定店舗	実施機関	北東北三県大阪合同事務所
取組内容	阪急梅田大阪駅 期間限定イベント		
実施概要	「青森県ええもんショップ」が期間限定でポップアップイベントを開催。		
その他	-		
出典	北東北三県大阪合同事務所HP https://www.kitatouhoku-osaka.jp/event.php		


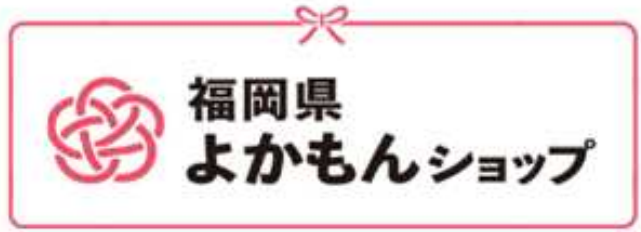

取組内容

- 2021年11月19日（金）～12月14日（火）まで「青森ええもんショップ」が大阪梅田駅2階、中央改札内にて期間限定でポップアップショップを出店。
アップルスナックやリンゴジュース、しじみ汁他、ねぶた漬物、ばらやきうどん、ホタテなど、普段「青森ええもんショップ」にて取り扱いのない商品も特別に取り寄せ、青森県産の名産品を豊富に紹介。
- オンラインショップで購入された方は事前購入した商品を阪急梅田駅2階中央改札外にあるコインロッカーで簡単に受け取れるサービス、「とりクロッカー」も実施し顧客の利便性も高めた。
このイベントは年に数回行われており毎回好評で常連客などにも好評である。
- また北関東三県大阪事務所ではHP上で様々な企画、イベント情報を発信る。このポップアップショップのほか、「青森ええもんショップ」での売り出しイベント情報、岩手NPO×企業オンライン交流会など、東日本大震災以降の協業の取り組み事例の共有など、様々な角度で地元の支援、活性化を図っている。



オンラインショップの事例（福岡県）

事例名	福岡県ウェブ物産展	実施機関	福岡県物産振興会
取組内容	インターネット上での福岡県特産品（登録数8158品）の物産展を開催		
実施概要	「楽天市場」内にウェブ物産展を出店。楽天の集客力と10%、20%、30%の割引クーポンで29億円を売り上げる		
その他	-		
出典	福岡県よかもんショップ https://www.rakuten.ne.jp/gold/bussan-f/?s-id=machiraku_fukuoka_pc_s016		

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言下の2020年5月2日、福岡県はインターネット・ショッピングモール「楽天市場」内に〈福岡県ウェブ物産展〉をオープンした。同県ではこれまで、県の補助金を受けた福岡県物産振興会が中心となり、首都圏の百貨店を中心に物産展を開催してきた。売上は年々伸びており、2018年度のピークには、年間約15億円に達していた。 ■ 2019年の終わりに新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、2020年1月頃から物産展が軒並み中止。再開の見通しが立たず、このままでは15億円の売上を失う危機に直面した。物産振興会と協議の上、対面での販売ができないなら、ネット通販をと、5年ほど前に事業で関わりを持ったことのある楽天に相談。初回の相談から約1か月と異例のスピードで、「楽天市場」内でのウェブ物産展をオープンした。 ■ 「福岡県ウェブ物産展」の成果としては、まずコロナ禍での売上の確保がある。2020年度の「楽天市場」における福岡県ウェブ物産展には、延べ1,145店舗が参加、延べ8,158商品を販売し、売上合計は、目標の15億円を大きく上回る、約29億円に到達した。さらに、これまでネット通販に取り組んでこなかった県内の事業者が、その価値、優位性に気づいたこと、これまでは対面でしか販売されてこなかった福岡の知られざる名産を全国に広く認知拡大できたことも大きい。 <p style="text-align: center;">  </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div>  </div> </div>
------	--

事例名	熊本よかもんSHOP	実施機関	熊本県 一般社団法人熊本県物産振興協会
取組内容	熊本県産アンテナショップのコンビニエンスストア内出店		
実施概要	熊本県産アンテナショップのコンビニエンスストア内出店による情報発信と県産品のPR		
その他	-		
出典	ローソンSDGニュース記事 2018年4月10日 https://www.lawson.co.jp/company/activity/topics/detail_jin/1328647_9112.html?msclid=aeac3a8fb95b11ecaa69aedb4e310371		

取組内容

- ローソン安土町二丁目店内の1コーナーを熊本県産品の販売特設コーナーにし、「熊本よかもんSHOP」として販売している。熊本県産で著名な「からし蓮根」「いきなり団子」「御飯の友」「熊本ラーメン」や冷凍の馬刺しまで取り扱っている。
- 熊本県大阪事務所があるローソン大阪駅前第3ビル店も、熊本県大阪事務所より「熊本サポートショップ」に認定。くまモングッズや地酒、お菓子などの熊本県産品コーナーを設置し、常時100品目販売している。両店ともくまモンが出勤してのイベントの開催などが行われている。





中心地型外商拠点施設（物産品販売・飲食店）の事例（新潟県）

店名	新潟をこめ	業種・業態	物産品販売・飲食店	実施機関	新潟県
出店地区	大阪市北区	実施場所	Whityうめだ	運営主体	株式会社ゆのたに
営業時間	午前10時～午後9時	店舗面積	—		
概要	新潟県産品の物販・観光情報・日本酒のカウンターバー				
出典	新潟の使い方HP記事 2021年2月5日 https://howtoniigata.jp/spot/must-buy/25667/?msclkid=2024494db94211ec82dc8e06f7592dd7				

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前身は2014年から運営していた「じよんのびにいがた」、2019年12月に株式会社ゆのたにが、新潟県よりアンテナショップの運営委託を受けてリニューアルオープンした店舗である。新潟県産の商品の紹介や県産品の販売の他、常時20種類以上の新潟県産日本酒が飲み比べできるカウンターが新設され、クラフトビールや新潟県産のおつまみも提供。また、魚沼産コシヒカリを使った出来立ておにぎりも提供している。おにぎりの具材も村上市の「塩引鮭」や「南蛮味噌」など、新潟県産にこだわった具も用意されている。さらに酒蔵メーカーによる試飲販売などイベントも随時開催している。 ■ 店舗イメージは、新潟の古民家をイメージし、床に阿賀野市の名産品「安田瓦」を、入口部分には県産の木材を使用した什器が設置されるなど、新潟らしさにこだわった造りとなっている。 ■ 品揃えはお菓子や珍味、お米、日本酒、ご当地ローカルフードなど約1,100点以上の品揃えとなっており、季節によって商品を紹介する「旅する新潟」コーナーも設け、何度訪れても飽きない鮮度ある商品展開を行っている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>しぼりたての新酒や「ひやおろし」など、季節限定のレアなお酒も随時入荷しており、カップ酒、クラフトビール、蔵元が作ったハイボールなど種類豊富に揃えている。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
------	--

郊外型外商拠点施設（農産物販売所）の事例（岡山県真庭市）

店名	真庭市場1号店	業種・業態	農産物販売所	実施機関	岡山県真庭市
出店地区	大阪府高槻市	実施場所	大阪府高槻市	運営主体	株式会社オール真庭
営業時間	午前10時～午後7時	店舗面積	—		
概要	岡山県真庭市産農畜産物の販売				
出典	真庭市HP https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/42/2088.html?msclkid=d40ee585b97011ec9b65eca5b6ebe130				

- 岡山県真庭市、蒜山高原産の新鮮野菜をはじめ、旬の果物やお米、花などを豊富に揃えている。年末年始以外は休業せずに毎日営業している店舗である。人気の商品は蒜山高原のジャージー牛乳を使用した乳製品や、真庭市ブランド認定を受けたお茶やお菓子などで高い評判を得ている。平成28年から前身の運営主体（平成24～27年）から現在の株式会社オール真庭に変更し、運営を行っている。滋賀県守山市には同じく岡山県真庭市の直売所「真庭市場2号店」があり、関西地区で2店舗の展開を行っている。

※ 真庭市場2号店 営業時間：午前10時から午後8時
所在地：滋賀県守山市播磨田町185-1（大型ショッピングセンター内）

取組内容

↓ 真庭市場1号店（大阪府高槻市）



↓ 店内の様子



↓ 店前の通りの様子

